

個人投資家向け会社説明会



ダイترون株式会社

証券コード: 7609 東証1部

- 1. 当社の概要**
- 2. 取扱商品紹介**
- 3. 第9次中期経営計画(9M)**
- 4. 業績結果及び見通し**
- 5. 株式情報**

商 号	ダイترون株式会社
設 立	1952（昭和27）年6月24日
本 社	大阪府大阪市淀川区宮原4-6-11
代 表 者	代表取締役社長 前 績行
資 本 金	22億70万8,560円
従業員数	連結：996名（うち正社員 666名）
売 上 高	連結：449億32百万円（2016年12月期）
事業内容	電子機器及び部品、各種製造装置等の製造・販売 上記の輸出入業務
子 会 社	8 社
株 式	東証 1 部上場
証券コード	7609



創業の精神

「きびしい仕事 ゆたかな生活」

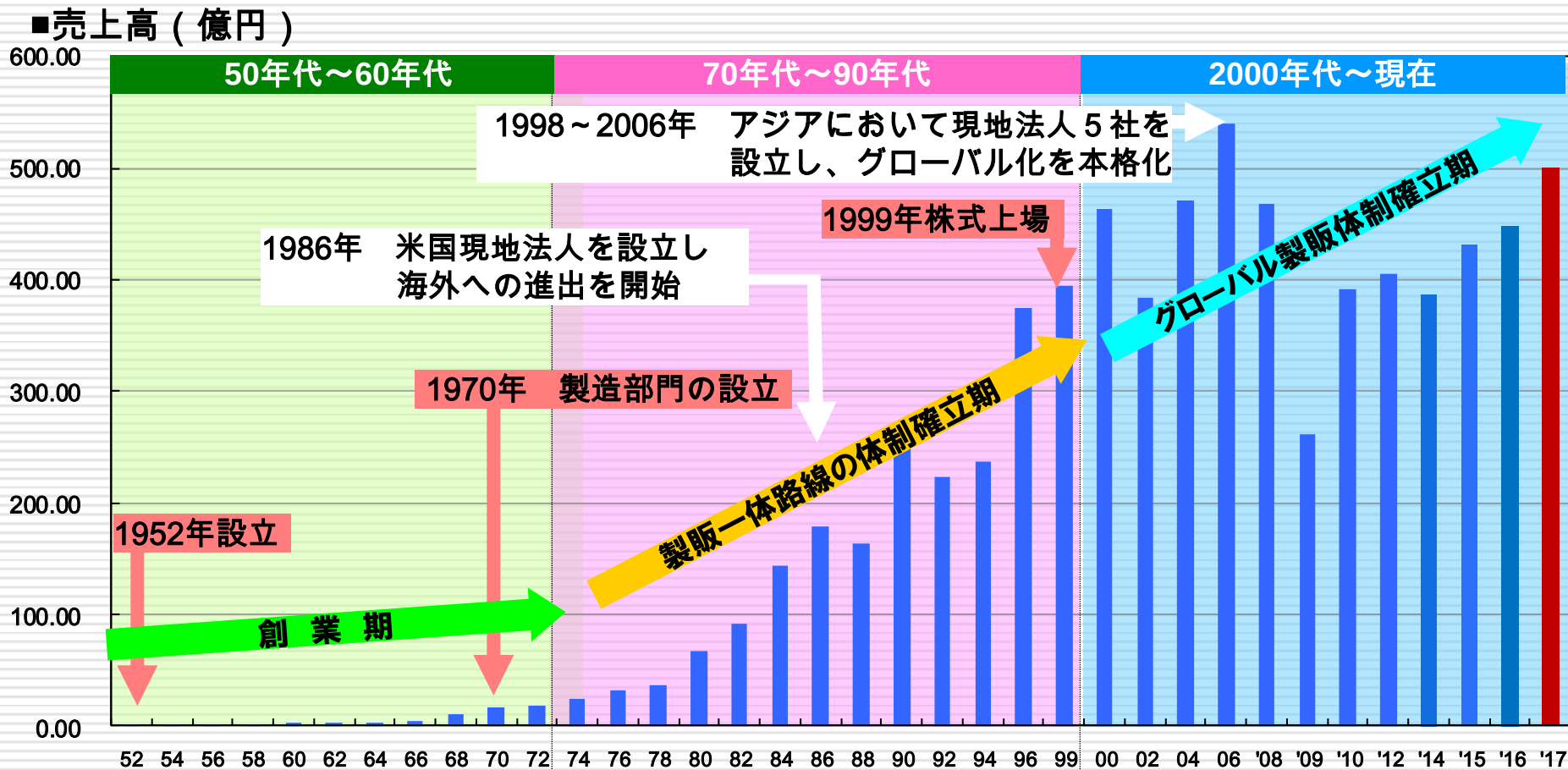
行動規範

**積極開拓 創意工夫 良識遵法
精励勤勉 友愛団結**

経営理念

- 我が社は、社員の自己実現を尊重し完全燃焼を期するがため、真に働き甲斐のある快適な職場創りを目指します。
- 我が社は、株主・顧客・仕入先に対して満足の提供に努力致します。
- 我が社は、絶えずグローバルな視野に立って、技術革新と高付加価値の創造に挑戦していきます。
- 我が社は、絶えず感謝の念をもって社会に貢献していきます。

エレクトロニクス商社としてスタートした当社は、製造部門を設立することにより、製造から販売まで製販一体の経営で急速に成長



注）1998年より連結決算を開始。グラフの売上高は1998年以降は連結ベース。それ以前は単体ベース。

（予想）

①製販融合路線のグループ編成

②先見力とマーケティング力

先端商品・有望市場を発掘する先見力

お客様ニーズに基づくマーケティング力

【調達先】

日本メーカー

欧米メーカー

アジアメーカー

【製造・販売】

ダイترونグループ
(国内子会社1社・海外子会社7社)

ダイترون株式会社

D&Pカンパニー
(製造機能)

M&Sカンパニー
(商社機能)

(部品事業)
電子機器・部品
等の製造

(装置事業)
製造装置
等の製造

電子機器・部品
製造装置
等の販売

【物流】

最先端の
ロジスティクス
システム

【得意先】

日本市場

欧米市場

アジア市場

総取引先数：約1,800社
(主要取引先数：約200社)

総取引先数：約5,000社
(主要取引先数：約600社)

③業界トップクラスの物流サービス機能

④優良な顧客資産と口座数の多さ

部 門		概 要
D&Pカンパニー (製造機能)	(装置事業部門)	【事業内容】 各種製造装置等の製造 【従業員数】 103名(パート・アルバイト含む) 【工場拠点】 多摩(東京)・羽島(岐阜)・ 金沢(石川)・亀岡(京都) 【事業領域】 半導体製造装置、光産業、一般産業
	(部品事業部門)	【事業内容】 電子機器・部品等の製造 【従業員数】 253名(パート・アルバイト含む) 【工場拠点】 多摩(東京)・一宮(愛知)・ 栗東(滋賀)・鷹和産業(株)(子会社・福岡) 【事業領域】 スイッチング電源・UPS(無停電電源装置) ハーメチックコネクタ・耐水圧コネクタ ワイヤーハーネス・カメラケーブル

M&Sカンパニー
(商社機能)

概 要

【事業内容】 電子機器及び部品、各種製造装置の販売・輸出入

【従業員数】 421名(パート・アルバイト含む)

【営業拠点】 宇都宮・茨城・東京・国立・横浜・静岡・名古屋・
金沢・京都・大阪・神戸・広島・福岡・熊本・
台北(台湾)・マニラ(フィリピン)

【主な特徴】 ・先見力

独自のネットワークにより、最先端の商品や
今後の有望市場を創造する先見力に優れています。

・マーケティング力

市場の動向からお客様のすき間ニーズまで見極める
マーケティング力を有しています。

・優良な顧客資産と口座数

国内のお客様中心に、総取引社数約5,000社

製販融合路線のグループ編成

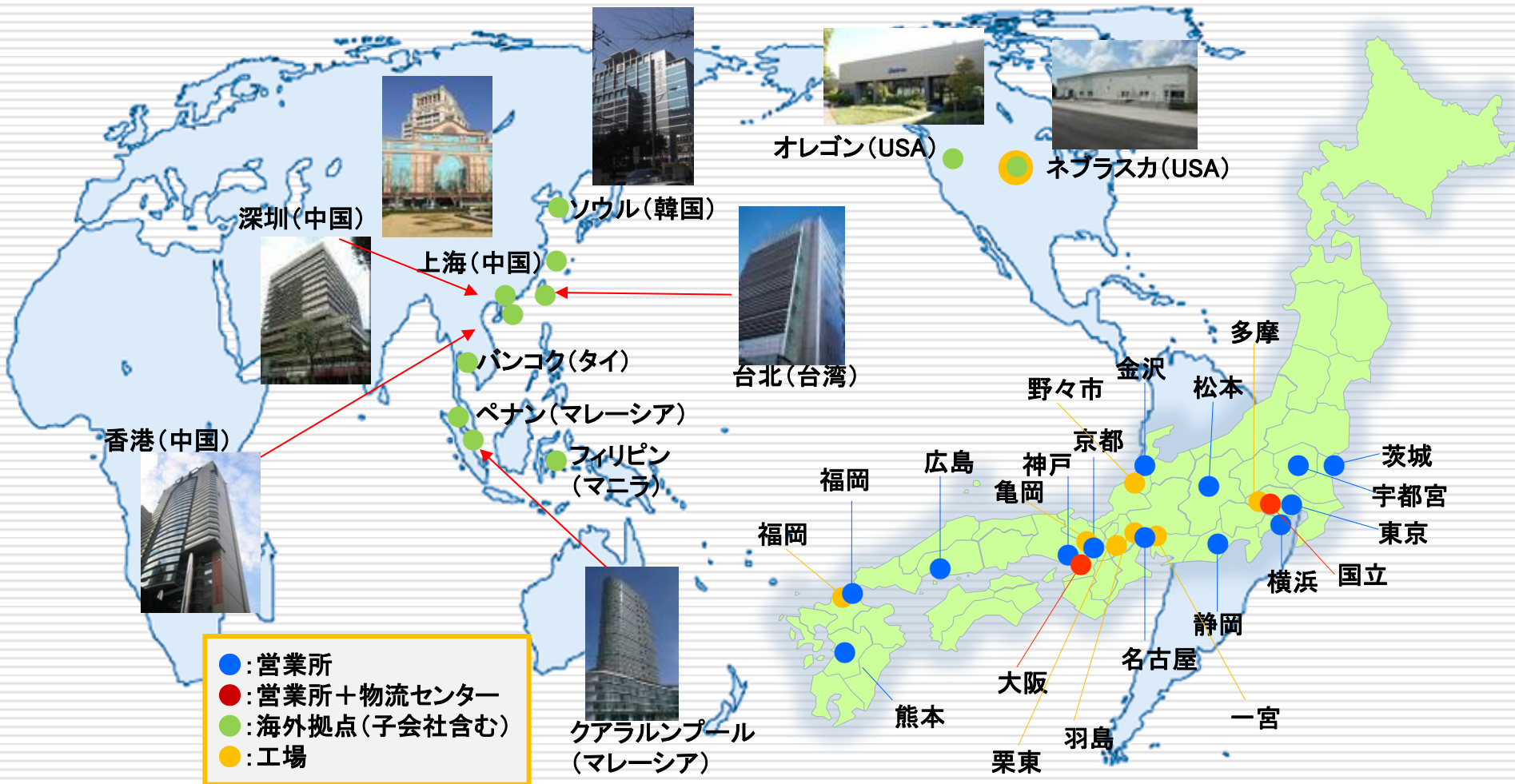
Daitron

メーカー機能と商社機能の融合により高付加価値を創出



「技術立社」として、充実した営業拠点展開

国内15拠点・海外11拠点・国内7工場・海外1工場



当社の事業構造（2017年 3Q実績）

事業	商品セグメント別	売上高構成比	総利益率	オリジナル 製品比率	海外売上比率
電子機器・部品	電子部品 & アセンブリ部品	29.8%	24.1%	24.3% (前年同期: 24.7%)	北米 3.5% (前年同期 2.9%)
	画像関連機器・部品	23.1%	17.7%		
	半導体	5.0%	21.8%		
	エンベデッドシステム	6.9%	15.1%		
	電源機器	8.7%	24.6%		欧州 0.3% (前年同期 0.4%)
	情報システム	4.7%	26.1%		
	電子機器・部品のその他	1.4%	12.2%		
製造装置	半導体・FPD製造装置	8.4%	23.3%		アジア 15.1% (前年同期 9.9%)
	電子部品製造装置	8.3%	34.8%		
	製造装置その他	3.8%	13.3%		
全 体		100.0%	22.3% (前年同期:22.9%)	24.3% (前年同期:24.7%)	18.9% (前年同期:13.2%)

 は、当社オリジナル製品を含んだ商品セグメントとなっております。

取扱商品紹介

電子機器及び部品分野の概要

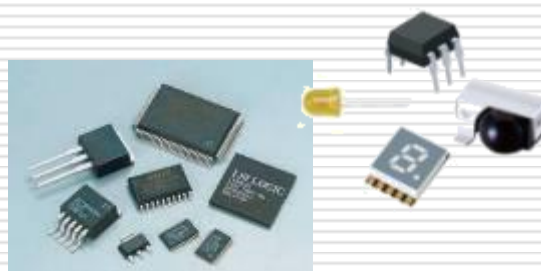
Daitron

電子部品 & アセンブリ商品



●コネクタ、ハーネス、機器組立配線

半導体



●カスタムIC、ASSP、汎用品

エンベデッドシステム



●エンベデッドボード、コンパクトPC

電源機器



●電源、瞬低保護装置

画像関連機器・部品



●CCDカメラ・レンズ・照明、画像処理機器

情報システム



●非接触ICカードシステム、ビデオ会議

主要商品

・コネクタ ・組立配線 ・スイッチ
・ワイヤーハーネス ・ケーブル等

主要納入先

オムロン(株)、シスメックス(株)、(株)デンソー、
古野電気(株)、日本電気(株)、(株)ディスコ等

用 途 及 び 製 品



各種コネクタ、
ハーネス



車輛ハーネス
Daitron Inc.製



耐水圧コネクタ
自社製品

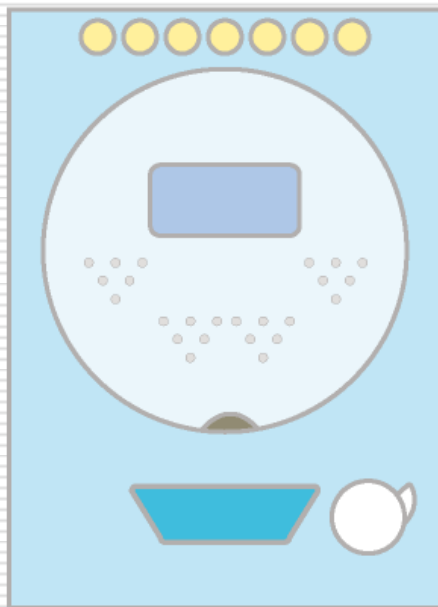
主要商品

- ・画像IC ・電源用IC
- ・通信用IC ・カスタムIC等

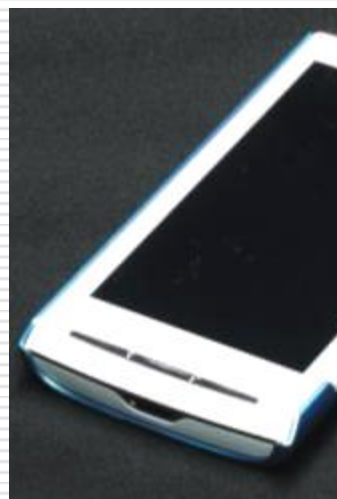
主要納入先

(株)ジャパンディスプレイ、パナソニック(株)、
三菱電機(株)、(株)島田理化工業等

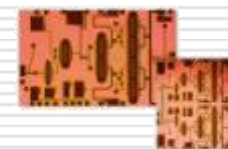
用途及び製品



パチンコ



スマートフォン



各種半導体

主要商品

・CPUボード ・FA用ボード

主要納入先

(株)アドバンテスト、(株)ダックス、
(株)島津製作所、キャノントツキ(株)等

用 途 及 び 製 品

券売機



高速道路現金
自動収受機



産業用カスタムPC



シングルボード
コンピュータ

主要商品

- SW電源 •トランス •UPS
- 電気二重層キャパシタ等

主要納入先

(株)金沢村田製作所、古野電気(株)、
(株)島津製作所、日本電子(株)等

用 途 及 び 製 品



手術用照明灯



自社製品



無停電電源装置



瞬低保護装置

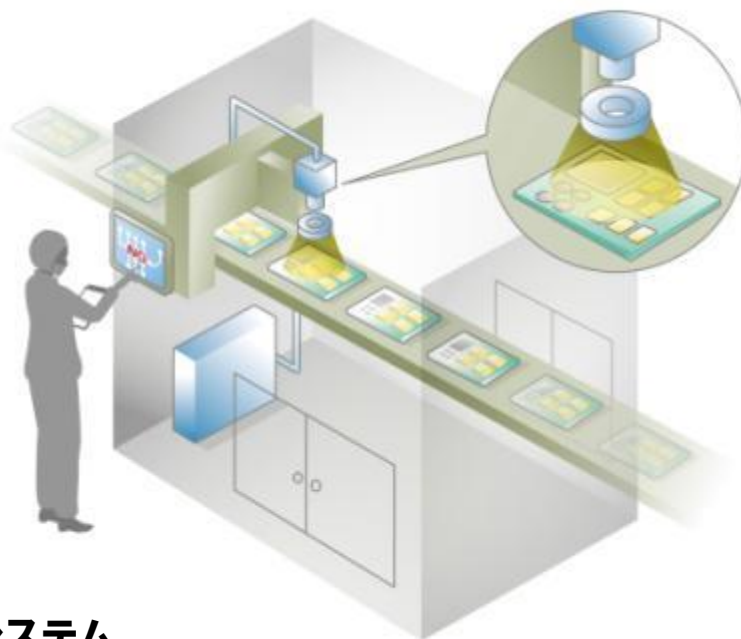
主要商品

・カメラ ・レンズ ・照明 ・モニタ
・画像処理装置 ・特殊カメラ等

主要納入先

キヤノントッキ(株)、セイコーエプソン(株)、
CKD(株)、JUKI(株)、YKK(株)等

用 途



マシンビジョンとは、人の目の代わりに画像を認識し、位置決めや種別、計測、検査を行うシステムのこと。

マシンビジョンシステム

主要商品

- ・ビデオ会議システム
- ・メディア
- ・非接触ICカード/リーダライタ等

主要納入先

アマノ(株)、モバイルクリエイト(株)、
キャノンマーケティングジャパン(株)等

用 途 及 び 製 品



各種交通機関



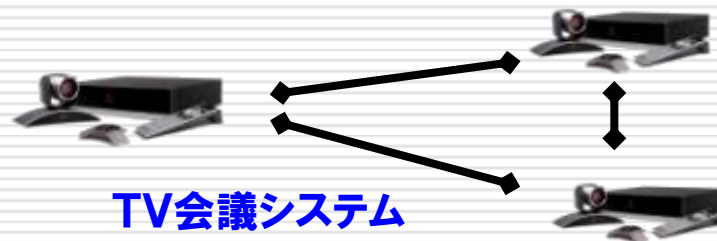
フェリカポート採用パソコン



入退室管理



遠隔医療



TV会議システム

半導体・フラットパネルディスプレイ（FPD）製造装置

フラットパネルディスプレイ製造装置

LSI製造装置

電子材料製造装置



● カバーガラス加工装置 ● 有機EL発光検査装置 ● リフトオフ装置 ● チップソーター ● 枚葉洗浄装置 ● ウェーハ面取機

電子部品製造装置

光デバイス製造装置

エネルギーデバイス製造装置



● 高精度ダイボンダー ● スクライブ・ブレイク装置 ● ワイヤソー ● エッジデリーション

主要製品

- ・液晶パネル製造装置
- ・ELバックライト照明製造装置
- ・有機ELパネル製造装置等

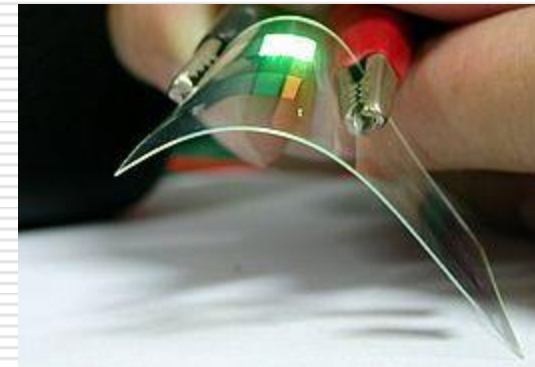
主要納入先

(株)ジャパンディスプレイ、(株)ニコン、
パナソニック(株)、日本電気硝子(株)等

用 途



液晶TV



有機ELパネル

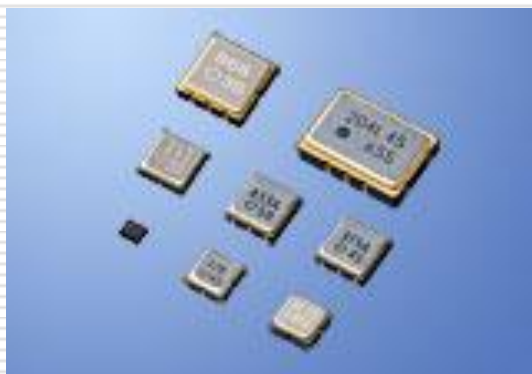
主要製品

- チップ選別装置
- 各種洗浄装置
- ウェーハ移載梱包装置等

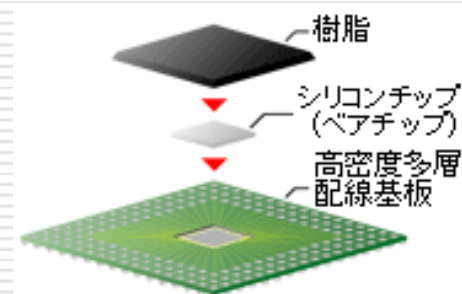
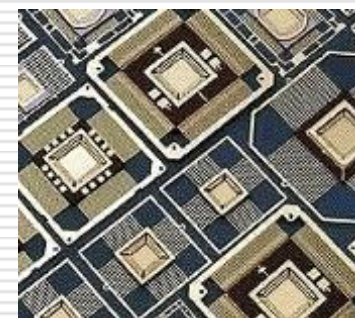
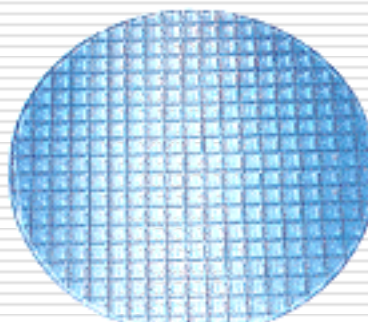
主要納入先

(株)金沢村田製作所、トヨタ自動車(株)
三菱電機(株)、富士電機(株)等

用途



通信用デバイス



主要製品

- ・Siウェーハ製造装置
- ・酸化物・化合物ウェーハ製造装置
- ・ガラス材料関連製造装置

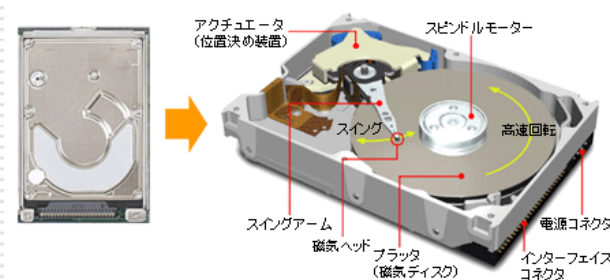
主要納入先

旭硝子(株)、京セラ(株)、信越半導体(株)、
日本硝子(株)、(株)SUMCO等

用途



シリコンウェーハ



ハードディスクドライブ

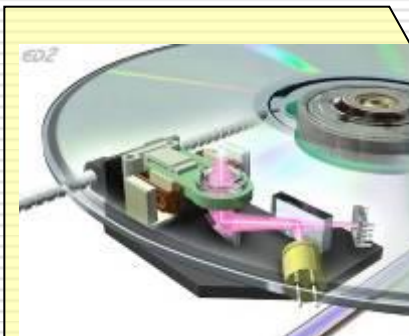
主要製品

- ・LD(赤色、ブルー・長波長)用製造装置
- ・LED用製造装置

主要納入先

スタンレー電気(株)、パナソニック(株)、
WESTERN DIGITAL(THAILAND)等

用 途



光ピックアップ



信号機



表示機



LED

主要製品

- ・ワイヤーソー
- ・薄膜スクラバー
- ・ソーラーシミュレーター 等

主要納入先

カネカソーラーテック(株)、京セラ(株)、
昭和シェル石油(株)等

用 途 及 び 製 品



ソーラーパネル



ライトソーキングマシン



薄膜スクラバー

2017年1月1日、3社合併により

ダイトロン株式会社

がスタートしました。このタイミングに合わせて、
長期的な視野に立った中期経営計画を策定し、
ダイトロンは新たな第一歩を歩み始めます。

第9次中期経営計画（9 M）



新 グループ・ステートメント

Creator for the *NEXT*

エレクトロニクス業界を担う企業として
グループのネットワークを活かし
新しい価値をクリエイトする

目指す姿

- 製販が融合した他に類を見ないユニークな企業
- 業界にとってなくてはならない特徴ある技術・製品を有する企業
- 社員にとって働き甲斐があり、誇りに思える企業
- 一致団結の強さと同時に自律能動的に動く組織

将来の目標

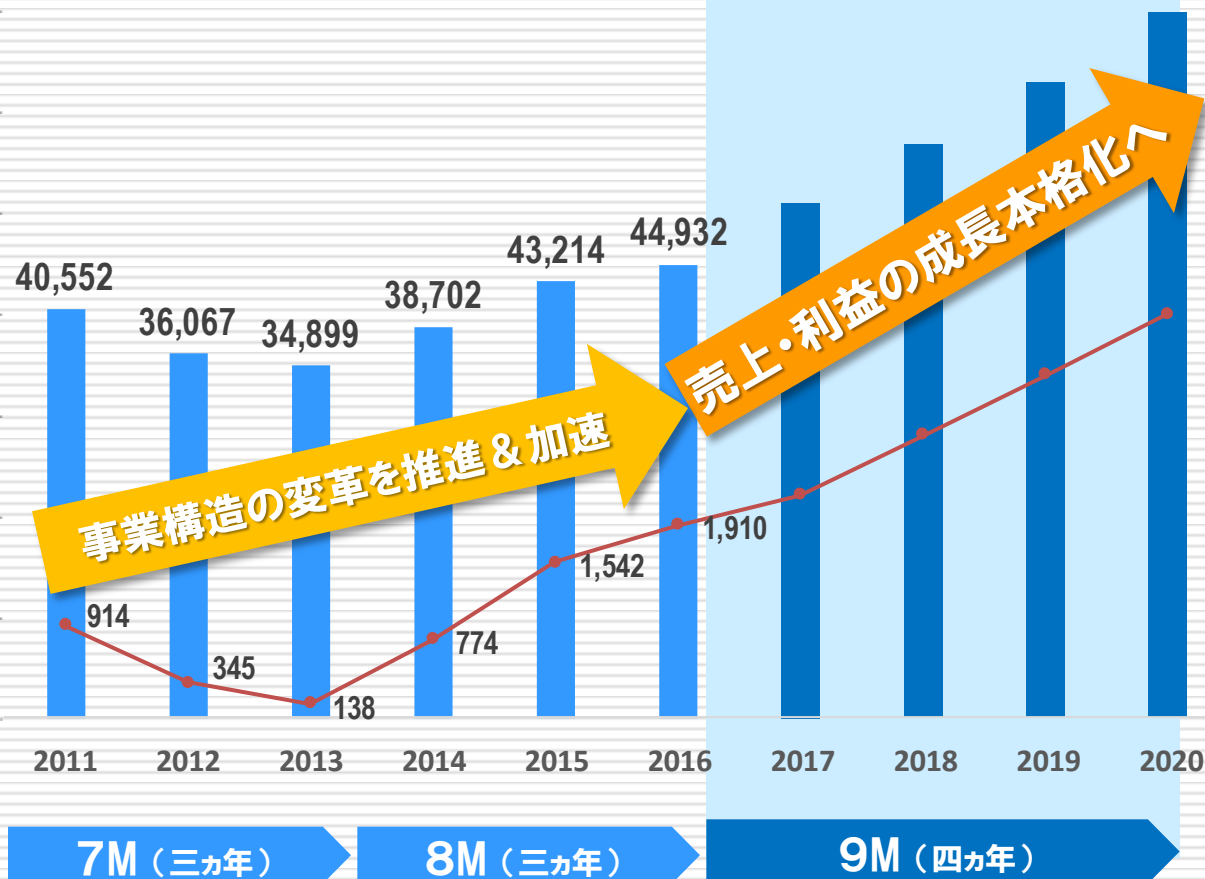
7Mと8Mで行った「事業構造の変革」を基礎に、
9Mより「売上・利益の成長本格化」を図り、
将来的に「1,000億円企業」の実現を目指す。



長期目標
連結売上高
1,000億円

1) 数値目標 (連結)

■ 売上高 (百万円) ● 営業利益 (百万円)



【2020年 数値目標】

売上・利益の持続的な
成長により
過去最高実績を越えて
更に先の成長を目指す

【目標とする経営指標】

自己資本比率

50%

ROA

4%

ROE

8%

5つの事業戦略

- 1 成長性重視の事業の再構築を推進
- 2 オリジナル製品開発の強化
- 3 海外ビジネス展開の強化
- 4 マーケティング力と営業力の向上
- 5 生産部門の統合強化

1 成長性重視の事業の再構築を推進 *Daitron*

成長が有望視される
新市場

自動車

医療

インフラ

ロボット関連技術

航空・宇宙

新市場
開拓

事業の
再構築
を推進

オリジナル製品

Daitron

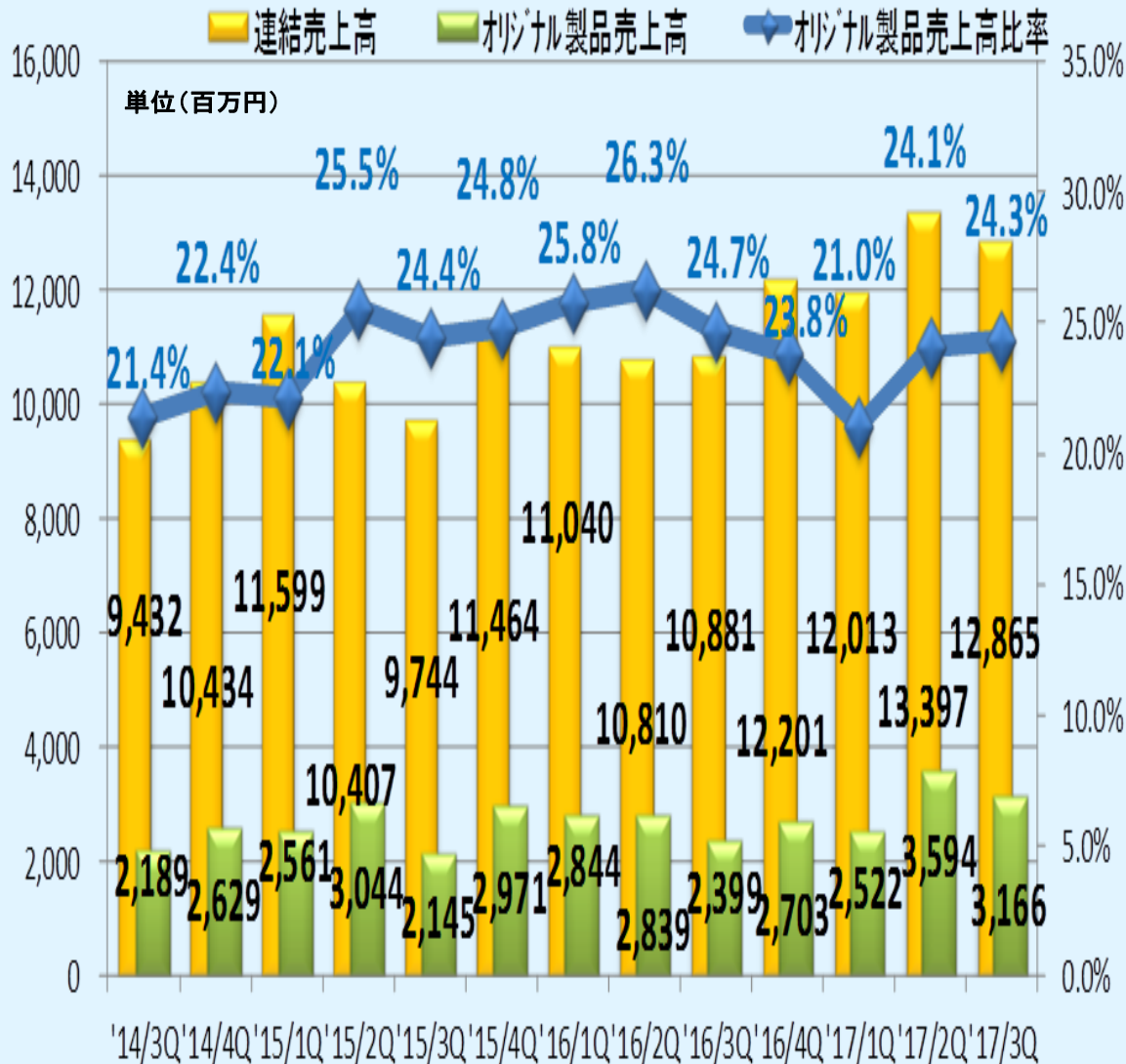
当社のオリジナルブランド

- 電子機器・部品関連
- 製造装置関連

開発
拡充

収益力の
更なる
強化

2 オリジナル製品開発の強化 *Daitron*



オリジナル製品比率
(売上高ベース)
2020年 30%を目指す

戦略ポイント

「事業ユニット」に基づく 強化・拡大戦略を展開

- ⇒ 事業ユニットを増やす
- ⇒ 各事業ユニットの規模を拡大する
(1ユニット当たり10~20億円を目指す)
- ⇒ 仕入先との連携によるラインナップ強化を図る

3 海外ビジネス展開の強化 *Daitron*

電子機器・部品関連
の安定的な売上拡大

海外市場における
顧客の拡大

当社の海外ネットワークを活かした
多国間ビジネスの拡大

積極化

海外
ビジネス
拡大

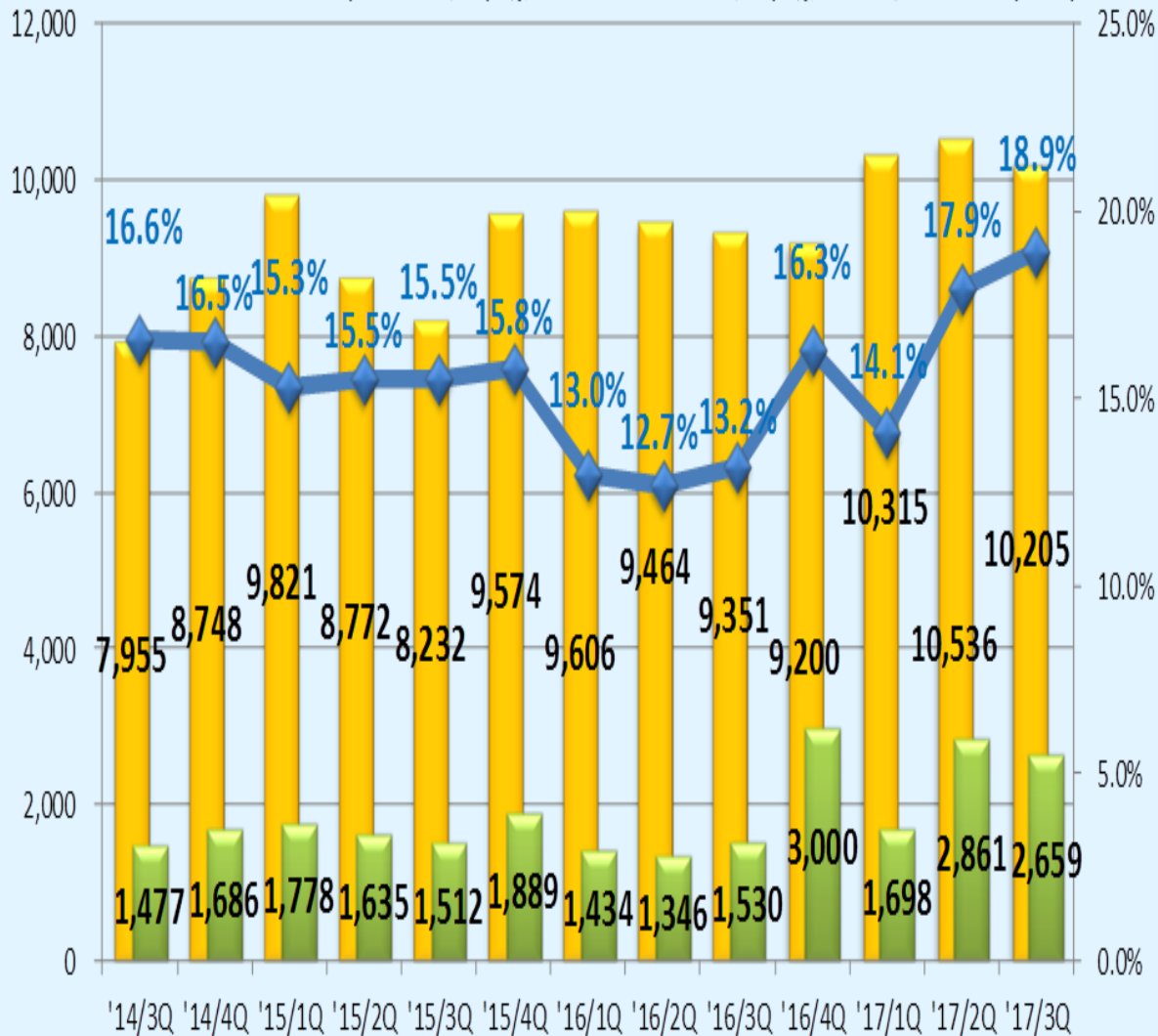
3 海外ビジネス展開の強化 *Daitron*

単位(百万円)

国内売上(四半期)

海外売上(四半期)

海外売上高比率



海外売上高比率

(売上高ベース)

2020年 30%を目指す

戦略ポイント

地域に密着したビジネス展開を目指す

- ⇒ ローカル企業との取引拡大
- ⇒ 電子部品ビジネスの拡大
- ⇒ アウト-アウト ビジネスの拡大
- ⇒ 地域独自のビジネス推進
- ⇒ ネットワークの拡充

4 マーケティング力と営業力の向上 *Daitron*

国内外ネットワークの拡充

&

国内外における展示会展開強化

市場
プレゼンス
向上



中部工場

(愛知県一宮市)

ダイترونグループの基幹工場



【第1期】電子機器・部品関連生産体制

⇒ 平成28年11月～稼働

【第2期】装置関連生産体制

⇒ 平成30年の稼働開始（予）

生産と開発の
中核拠点
として強化

「製販融合路線」による
“エレクトロニクス業界の**技術立社**”として
独自の進化を図り
高成長・高収益の実現を目指す

業績結果及び見通し

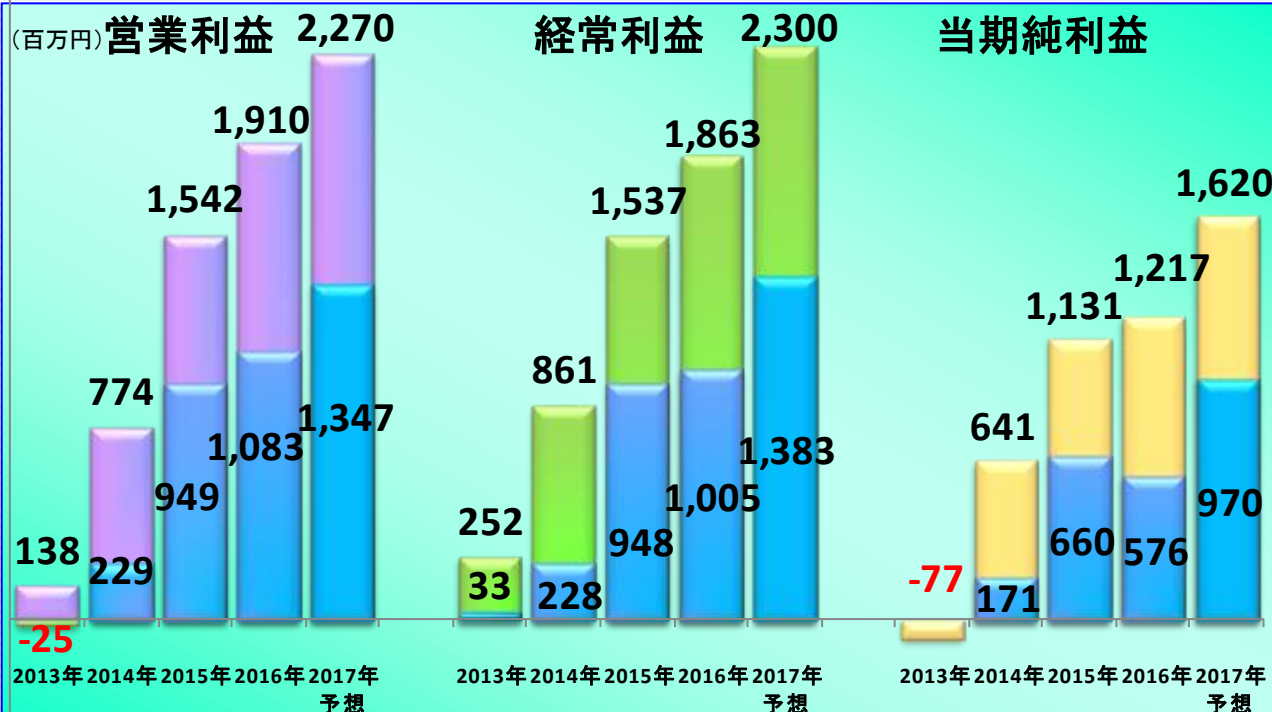
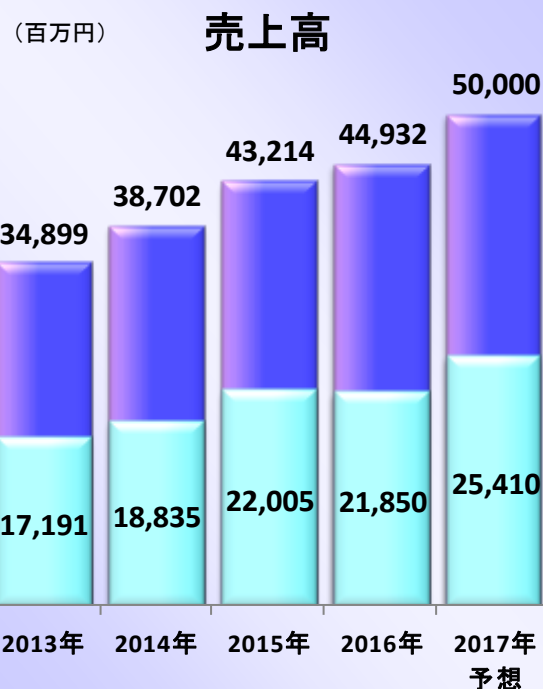
通期連結業績結果および見通し

■ **売上高** **50,000百万円**
(前年比 111.3%)

■ **営業利益** **2,270百万円**
(前年比 118.8%)

■ **経常利益** **2,300百万円**
(前年比 123.4%)

■ **当期純利益** **1,620百万円**
(前年比 133.1%)



通期連結業績見通し

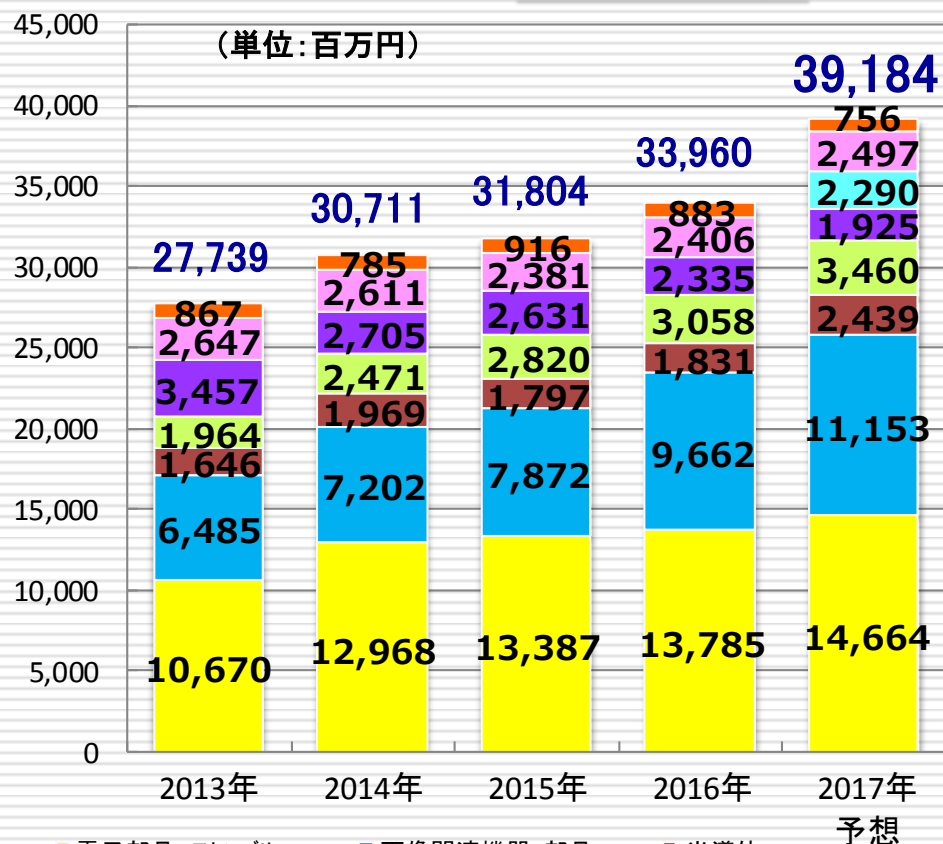
(百万円)	2016年 12月期 通期業績実績	2017年12月期		増減率	
		期初計画	修正計画(8/2)	前期比	期初比
売上高	44,932	47,500	50,000	11.3%	5.3%
営業利益	1,910	1,920	2,270	18.8%	18.2%
経常利益	1,863	1,920	2,300	23.4%	19.8%
親会社株主に 帰属する 純利益	1,217	1,350	1,620	33.1%	20.0%
1株当たり 純利益	109.62 円	122.29 円	146.75 円	—	—

商品セグメント別 通期業績見通し

電子機器及び部品関連

■売上高 **39,184百万円**

◆前年比 **15.4%増**

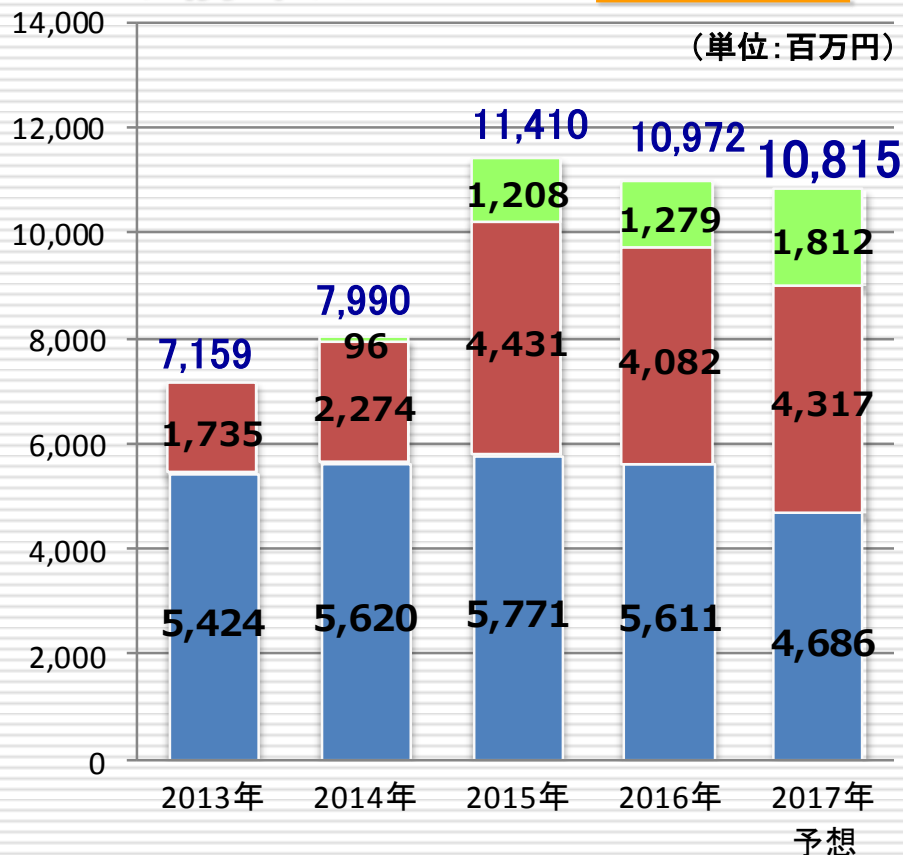


■ 電子部品&アセンブリ
 ■ エンベデッドシステム
 ■ 情報システム
 ■ 画像関連機器・部品
 ■ 電源機器
 ■ 電子機器・部品のその他
 ■ 半導体
 ■ グリーン・ファシリティ

製造装置関連

■売上高 **10,815百万円**

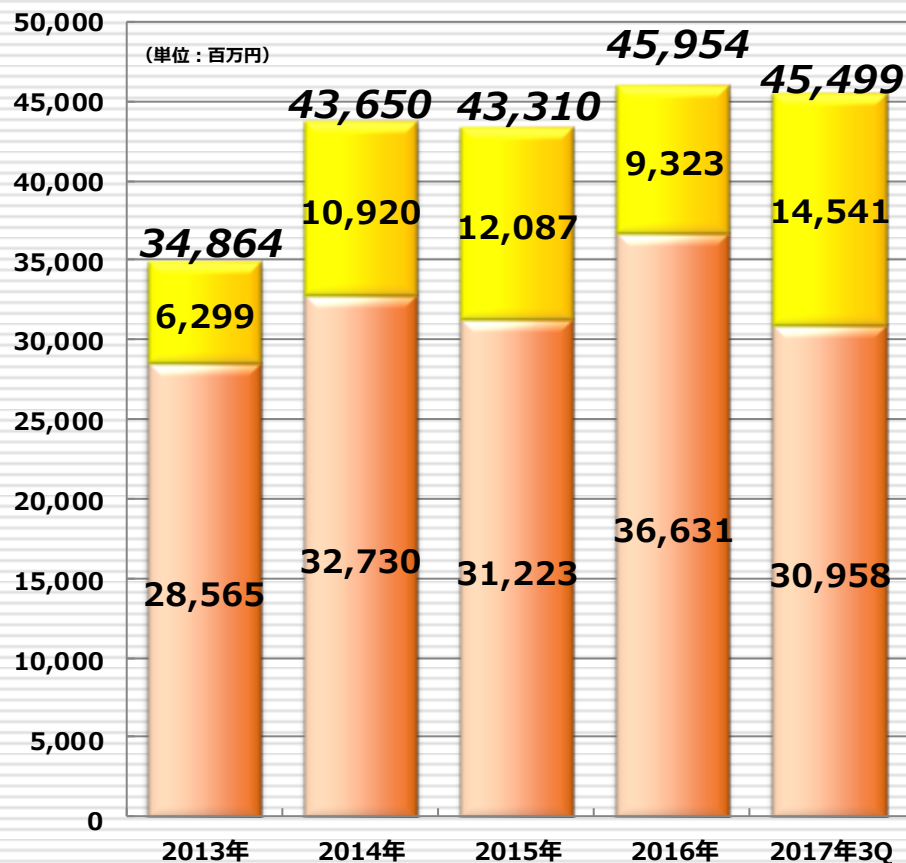
◆前年比 **1.4%減**



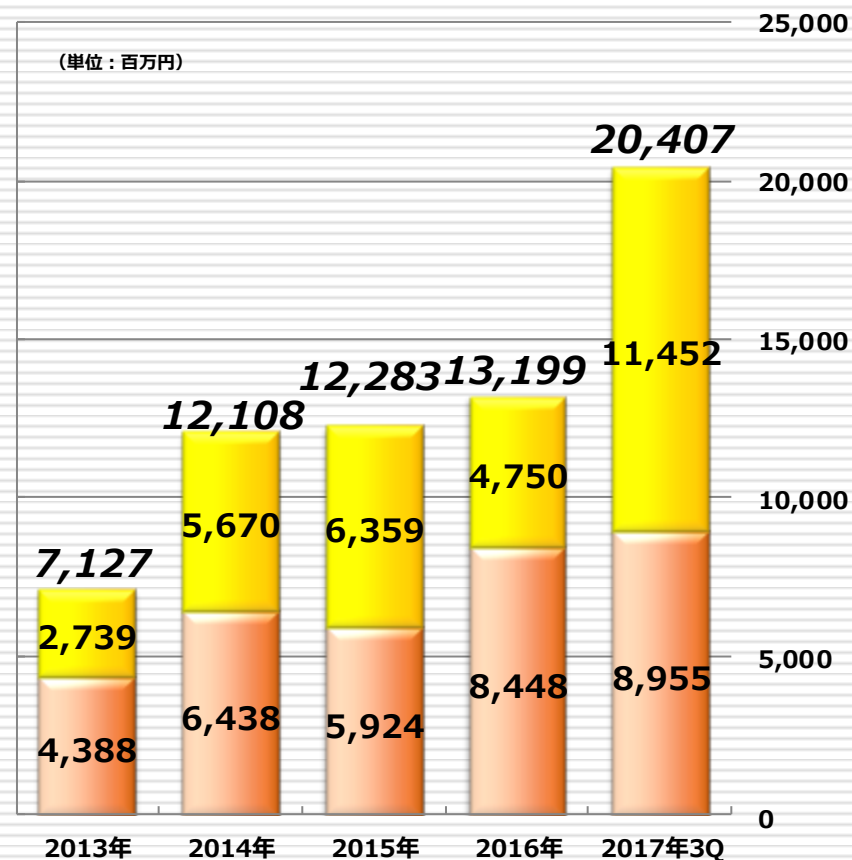
■ 半導体・FPD製造装置
 ■ 電子部品製造装置
 ■ 製造装置その他

商品セグメント別 連結受注高・受注残高推移

受 注 高



受 注 残 高



電子機器及び部品
 製造装置

※2017年3Q時点で受注残高が200億円を超えておりますが、2019年度以降の納期が約60億円（電子機器及び部品 約2億円 製造装置 約59億円）となっております。

株式情報

(2017年6月30日現在)

上 場 市 場
証 券 コ ー ド
単 元 株 数
発 行 済
株 式 総 数
株 主 数
株 主 構 成

東京証券取引所 1部

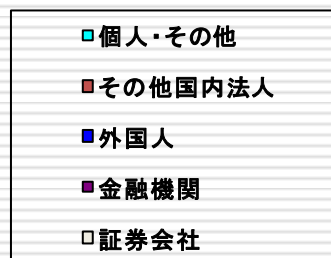
7 6 0 9

1 0 0株

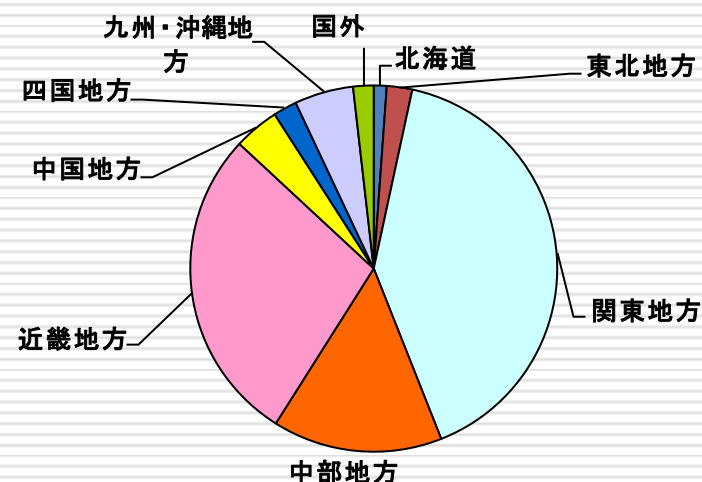
1 1, 1 5 5, 9 7 9株

3, 8 7 7名

所有者別株主分布状況



地域別株主分布状況





出典：Yahoo!ファイナンス 2017年11月27日現在

配 当

	第2四半期末	期 末	年間配当	当初予想	配当性向
2013年 12月期	0円	5円	5円	10円	—
2014年 12月期	0円	15円	15円	5円	25.98%
2015年 12月期	0円	25円	25円	15円	24.53%
2016年 12月期	0円	30円	30円	20円	27.37%
2017年 12月期 予想	15円	20円	35円	30円	23.85%

※2017年12月期より中間配当を実施

※2017年配当性向は、3Q末時点の株式数基に算出しております。

この資料で述べられている将来の当社業績に関する見通しは、現時点で知りうる情報をもとに作成されたものです。

当社が位置するエレクトロニクス業界の電子機器・部品産業並びに製造装置産業は、テクノロジーの変化やスピードが大変速く、競争の激しい産業です。

また、北米やアジア諸国の経済情勢など、当社の業績に直接的・間接的に影響を与える様々な外部要因があります。

従いまして、今後、当社の業績の見通しが本資料と異なる可能性があることをお含みおき下さい。

「本資料並びに I R に関するお問い合わせ先」

経営システム部 経営管理課 広報・I R 担当

TEL : 06-6399-5952

FAX : 06-6399-5962

e-mail : kouhou@daitron.co.jp

本日のご出席 有難うございました。